



南条っ子

南条小学校だより

教育目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条っ子は 進んで学ぶ子

思いやりのある子

力いっぱいやりぬく子

令和4年12月20日発

第42号



○ 今年の漢字

2022年 今年の漢字は、「戦」

日本漢字能力検定協会が、「今年の世相を表す漢字一字」を募集し、一番応募の多かった1字を、12月12日の漢字の日「いい(1)じ(2)いち(1)じ(2)」(いい字1字)に合わせて、京都市の清水寺で発表しています。今年12月12日に発表され、「戦」が選ばれました。

今年の「戦」という漢字は、ロシアのウクライナ侵攻やサッカーのワールドカップでの日本代表の試合などの理由から選ばれたのでしょうか。また、2位以下は、2位「安」、3位「楽」、4位「高」、5位「争」、6位「命」、7位「悲」、8位「新」、9位「変」、10位「和」でした。



なお、これまでに選ばれた漢字は、1995年震、1996年食、1997年倒、1998年毒、1999年末、2000年金(1回目)、2001年戦(1回目)、2002年帰、2003年虎、2004年災(1回目)、2005年愛、2006年命、2007年偽、2008年変、2009年新、2010年暑、2011年絆、2012年金(2回目)、2013年輪、2014年税、2015年安、2016年金(3回目)、2017年北、2018年災(2回目)、2019年令、2020年密、2021年金(4回目)、2022年戦(2回目)です。

みなさんにとって、今年一年を漢字一字で表すとしたら、どんな漢字になるでしょうか？1年を振り返ってみて、たくさんの楽しい思い出が思い出され、良い意味の漢字が浮かんでくるようだったら良いです。

○ 学校給食週間

12月9日(金)～12月15日(木)は、本校の学校給食週間でした。献立が、地場産物や郷土料理と小・中学校のリクエストメニューのコラボ給食になっていました。

- ・9日(金) 若狭牛入りカレーライス、大根とわかめのサラダ、みかんゼリー
- ・12日(月) 豆腐のみそ汁、鶏肉の唐揚げ、大豆の梅和え
- ・13日(火) 茶飯、里芋のみそ汁、あげ入り豚野菜炒め、豆乳プリンタルト
- ・14日(水) 県産さわらのみぞれ和え、打ち豆入りみそ汁、県産完熟梅ゼリー
- ・15日(木) コッペパン、冬野菜のコーンポタージュ、ハンバーグ、スパゲッティナポリタン
ハンバーグが、クリスマスツリーの形になっていました。

【全国学校給食週間】(1月24日から1月30日)

学校給食は、1889年(明治22年)に、山形県鶴岡町(現・鶴岡市)の大督寺というお寺の中に建てられた私立忠愛小学校で始まりました。貧しくて生活に困っており、お弁当を持って

くることができない子どもたちのために、お坊さんがお昼ごはんを食べさせていました。



それ以来、各地に広がっていきましたが、戦争の影響などによって中断されました。

1946年(昭和21年)6月にアメリカのLARA(Licensed Agencies for Relief in Asia:アジア救済公認団体)から、給食用物資の寄贈を受けて、1947年(昭和22年)1月から学校給食が再開されました。また、同年12月24日に、東京都内の小学校でLARAからの給食用物資の贈呈式が行われ、それ以来、

この日を学校給食感謝の日と決めました。そして、1950年(昭和25年)度から、学校給食による教育効果を促進する観点から、冬季休業と重ならない1月24日から1月30日までの1週間を「全国学校給食週間」としました。

○ 保護者会の実施について

12月20日(火)に保護者会を行います。本来なら、授業参観をしていただき、お子様の学習の態度や様子をご覧いただくところ、大変残念ではありますが、新型コロナウイルス感染症の感染状況が悪化したため学校閉鎖とし、授業は教室と自宅を結び、ICT機器を使ったオンラインで行わせていただきます。

個人懇談では、担任からお子様について、頑張ったこと、できたこと(できるようになったこと)、もう少し頑張ると良いなということなど、具体的に話があるかと思えます。家庭と学校が協力して、お子様をできるだけ伸ばして行きたいと考えておりますので、今後も頑張ろうと思えるような意欲を高める言葉かけをお願いします。

【気を付けましょう！】子どもに(だれに対しても)絶対言ってはいけない言葉3種類

「人格否定」の言葉 「能力否定」の言葉 「存在否定」の言葉

なお、クラスによっては、担任本人またはその家族の体調不良により、個人懇談ができません。年明けに実施させていただきたいと思えます。急な変更で大変ご迷惑をおかけすることになりまして、誠に申し訳ございません。

【通知表について】

文部科学省によりますと、通知表は「各学校で子ども自身や保護者に学習状況を伝え、その後の学習を支援することに役立たせるために作成されているもの。扱い、記載内容や方法、様式などは各学校の判断で適宜工夫されている。」とし、内容はもちろん、発行するか、しないかも含め、「校長の裁量内」という位置づけになっています。そのため、南越前町内には、小学校が4校ありますが、通知表は統一させておりません。また、県外の学校では、通知表がないところもありますし、毎学期末に担任が児童・生徒に直接渡しているところもあります。県外から転校してきた場合、通知表を保護者が学校に受け取りに行くことに驚かれる方もいらっしゃると思います。

【校長より】

今週でよいよ2学期が終わります。学期末になって教員生活初めての学校閉鎖を経験しました。子どもの元気な姿を見ることのできない学校は、とても寂しいものです。一日でも早くコロナが終息してほしいですが、今ほとんどの場合、感染防止に努めなければなりません。